

市が主体となって取り組む事業の進捗状況について

1 事業種別の進捗状況(令和7年度末時点)

令和7年度末の市が主体となって取り組む事業の進捗状況を各課かいからの報告に基づき、その内容を全課共通事項と各課個別事項にまとめています。

(1) 心のバリアフリーの推進

| 項目 | 事業内容 | 令和6年度 | 令和7年度 | 増減 |
|------|--------------------|------------------|------------------|-------|
| 普及啓発 | 心のバリアフリーの普及啓発 | 24/86 課 (28%) | 28/85 課 (33%) | ↗ +4課 |
| 教育啓発 | 職員教育の実施 | 41/86 課 (48%) | 41/85 課 (48%) | → +0課 |
| | 施設運営・管理者関係者への教育の実施 | 14/86 課 (16%) | 15/85 課 (18%) | ↗ +1課 |
| | 心のバリアフリーの教育啓発 | 36/86 課 (42%) | 40/85 課 (47%) | ↗ +4課 |

【事例紹介(抜粋)】

- 市内研修でやさしい日本語をテーマに多文化共理解研修を実施した。
- ミーティングを活用し、心のバリアフリーについて各々ができることを話し合った。
- 本市と包括連携協定を締結している「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」の課題解決メニュー「車いす街歩き体験」を活用し、社会教育施設職員を対象とした研修を実施した。香川公民館周辺を車いすで巡り、ハード・ソフトの両面でどのようなバリアがあるかの体験やグループワークを行った。

(2) 情報のバリアフリーの推進

| 項目 | 事業内容 | 令和6年度 | 令和7年度 | 増減 |
|------|------------------------------------|------------------|------------------|-------|
| 情報保障 | ホームページのバリアフリー化 | 52/86 課 (60%) | 50/85 課 (59%) | ↘ -2課 |
| | 筆談具やコミュニケーション支援ボードの設置及び設置に関する案内の提示 | 42/86 課 (49%) | 44/85 課 (52%) | ↗ +2課 |
| | 掲示物や配布物のバリアフリー化 | 46/86 課 (53%) | 52/85 課 (61%) | ↗ +6課 |
| 案内表示 | 案内サインのバリアフリー化 | 28/86 課 (33%) | 32/85 課 (38%) | ↗ +4課 |

【事例紹介(抜粋)】

- 窓口にて、窓口用磁器ループを設置している。また、持ち運びができる移動式磁器ループの貸出を行っている。
- 明治安田生命から電話音声明瞭器「サウンドアーチ」を寄付いただき、地域包括支援センター11カ所と課内2カ所の電話に繋いで活用している。
- 館内の掲示物は大きな文字やルビ、イラストを添えて誰でも見やすく理解しやすいように工夫し継続して作成した。
- トイレ案内にはピクトグラムを、部屋名は来館者が見やすいように大きな文字で掲示した。必要な案内サインがあればバリアフリー化を意識して作成した。

(3) 人的対応・接遇の推進

| 項目 | 事業内容 | 令和6年度 | 令和7年度 | 増減 |
|----|---------------------------|------------------|------------------|-------|
| 窓口 | 高齢者等への対応 (拡大鏡や老眼鏡の貸出等) | 51/86 課 (59%) | 51/85 課 (60%) | → +0課 |
| | 外国人への対応 | 32/86 課 (37%) | 36/85 課 (42%) | ↗ +4課 |
| | 来庁が困難な方への柔軟な対応 | 55/86 課 (64%) | 58/85 課 (68%) | ↗ +3課 |
| 施設 | 障がい者・子育て世代への対応 | 36/86 課 (42%) | 44/85 課 (52%) | ↗ +8課 |

【事例紹介(抜粋)】

- 119番対応で委託契約を締結している電話通訳サービスを活用して対応した。
- 法務省出入国在留管理庁による地方公共団体の行政窓口等に対する通訳支援事業を活用した。
- 令和5年度より来館せずとも主催講座の申し込みができるように電子上での申請に切り替えた。他の手続きも電子上での手続きが可能なものは積極的に切り替えを行った。また、電子上で申請が難しい方がいた場合は、個別で対応することを職員が共有している。
- 自宅からでも参加できる講座を開催した。
- 庁舎利用者が安全・安心に利用できるよう、車いす・ベビーカーのメンテナンスを継続し利用できる環境を整えた。

(4) 小中学校のバリアフリー化の推進

| 項目 | 事業内容 | 令和6年度 | 令和7年度 | 増減 |
|-----------------|---|-------|-------|----|
| 小中学校のバリアフリー化の推進 | 「(仮称)茅ヶ崎市学校施設再整備基本計画」へのバリアフリー化の方針の反映 | — | — | — |
| | 学校施設の大規模改修等の機会にあわせ、建物や敷地内の移動等円滑化経路を含めた小中学校のバリアフリー化の推進 | ○ | ○ | — |
| | 通学路合同点検を実施し、通学路のバリアフリー化の推進 | ○ | ○ | — |

【事例紹介(抜粋)】

- 茅ヶ崎市学校施設再整備基本計画にバリアフリー化の方針を記載し、令和5年度末に策定した
- 昨年度設計を行った円蔵小学校について、建物や移動等円滑化経路のバリアフリー化の改修工事を行った

(5) 施設等のバリアフリー化の推進



| 項目 | 事業内容 | 令和6年度 | 令和7年度 | 増減 |
|--------|---|---------|---------|----|
| 計画設計段階 | 法令等の遵守及び本基本構想の共通配慮事項の反映 | 18/18 課 | 15/15 課 | — |
| | 計画・設計段階における当事者意見の反映 | 9/9 課 | 7/7 課 | — |
| | 計画・設計に関する仕様書・契約書等における、バリアフリーに関する設計協議や当事者参加に関する記載の反映 | 6/6 課 | 4/4 課 | — |

| 項目 | 事業内容 | 令和6年度 | 令和7年度 | 増減 |
|----------|---|------------------|------------------|-------|
| 工事 | 安全な通路の確保や誘導、工事案内の周知等 | 15/15 課 | 17/17 課 | — |
| | 工事に関する仕様書等における、バリアフリーへの配慮等に関する記載の反映 | 8/8 課 | 9/9 課 | — |
| 維持管理運営 | 改修時における当事者意見の反映 | 4/4 課 | 4/4 課 | — |
| | 維持管理・運営に関する仕様書・契約書等における、バリアフリーに関する設計協議や当事者参加に関する記載の反映 | 2/2 課 | 1/1 課 | — |
| | 執務室内及びそこに至る動線の整理整頓と十分な幅員の確保 | 59/86 課 (69%) | 61/85 課 (72%) | ↗ +2課 |
| | 主要な通路の十分な幅員の確保 | 45/86 課 (52%) | 50/85 課 (59%) | ↗ +5課 |
| | だれもが使いやすい窓口や記入台の設置 | 33/86 課 (38%) | 38/85 課 (45%) | ↗ +5課 |
| | 施設利用者が使いやすい駐輪場 | 20/31 課 | 21/31 課 | ↗ +1課 |
| 建物土地の賃貸借 | 建物・土地の賃貸借に関する仕様書・契約書等における、バリアフリーに関する設計協議や当事者参加に関する記載の反映 | 1/1 課 | 0/0 課 | — |

【事例紹介(抜粋)】

- 申請者等との協議等において、法令等の遵守及び茅ヶ崎市バリアフリー基本構想の共通配慮事項の反映を指導した。
- 粗大ごみ処理施設は神奈川県みんなのバリアフリーまちづくり条例に基づきバリアフリーの整備を行う。施設の性質上、利用者が自らの意思で自由に移動する施設ではないため当事者からの意見聴取は実施しないこととしたが、茅ヶ崎市バリアフリー基本構想の「重点整備地区の移動等円滑化に関する事項」の「建築物・駐車場のバリアフリーを推進するための配慮事項」を設計に反映させることとした。

(6) 災害・緊急時におけるバリアフリー化の推進





| 項目 | 事業内容 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | 増減 |
|-----|--|----------------|------------------|---|
| 平常時 | 避難所に関する情報や各種ハザードマップ等について、視覚障がい者等にも配慮した情報提供を行う。 | 6/86 課 (7%) | 11/85 課 (13%) |  +5課 |
| | 避難所のバリアフリー化を推進し、情報を提供する。 | 4/86 課 (5%) | 4/85 課 (5%) |  +0課 |
| 発災時 | 災害の状況について、多様な手段による情報提供を行う。 | 15/86 課 | 13/85 課 | — ※1 |
| 避難時 | 避難者に必要な情報を伝えるために、多様な手段による情報提供を行う。 | 10/86 課 | 12/85 課 | — ※1 |

※1 蓋然性があり、比較の妥当性を欠くため

【事例紹介(抜粋)】

- 人工呼吸器装着者や家族に対し、災害時の準備や避難に関する情報をまとめた「災害ノート」を作成した
- 「ちがさき障がい者支援アプリ」により、避難所の開設状況等の情報提供を行った
- 津波警報の際、利用者への声かけおよび文字での掲示を行った
- 様々な方へ情報を届けられるよう、音声や文字を活用した情報発信に努め、LINE など SNS を用いた情報発信では、イラストなどを用いて直感的に情報が伝わるよう心掛けた

(7) イベント・会議・講演等におけるバリアフリー化の推進

| 項目 | 事業内容 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | 増減 |
|-----|--------------------|------------------|------------------|---|
| 計画時 | だれもが参加しやすい方法への配慮 | 36/86 課 (42%) | 38/85 課 (45%) |  +2課 |
| | 障がい者が参加しやすい方法への配慮 | 22/86 課 (26%) | 25/85 課 (29%) |  +3課 |
| | 子育て世代が参加しやすい方法への配慮 | 30/86 課 (35%) | 29/85 課 (34%) |  -1課 |
| 実施時 | 休憩スペースの確保 | 19/86 課 (22%) | 21/85 課 (25%) |  +2課 |

【事例紹介(抜粋)】

- 議会報告会は、YouTube での配信としており、意見交換会についても、従来の対面方式に加え、オンライン対応も可とした
- 映画会では最前列を視覚障がい者向けの優先席、出入りしやすい後方の席を車いす利用者用の席として設置した
- 主催事業実施時に、講座に影響のない範囲で児童・乳幼児の同伴等ができるよう講師と調整を行った。また、ジョイントマットを設置するなど安全な環境を整えた

(8) バリアフリー整備等に係る予算への対応

| 項目 | 事業内容 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | 増減 |
|------|---------------------------|---------|---------|----|
| 予算 | バリアフリー化に関する予算計上及び次年度予算の確保 | 12/86 課 | 11/85 課 | — |
| 補助金等 | 事業の実施に向けて、国や県等の補助金制度を活用 | 11/86 課 | 9/85 課 | — |

【事例紹介(抜粋)】

- 口語による通報が困難な方や日本語での通報が困難な外国人に対応するため、文字による通報システムや通訳サービスが利用できるようにサービス提供事業者と委託契約を締結した
- 改良工事の前段として、勾配を緩くするための段差解消工事や、用地取得箇所の一時的な舗装工事を実施した。また、改良工事を実施した箇所についてはセミフラット形式で整備した。

2 令和7年度取り組み状況のまとめ

令和 6(2024)年度から令和 7(2025)年度にかけては、新たなバリアフリー関連事業に取り組む課かが増加しました。これは、庁内での取組の共有や情報交換を通じて、取組のヒントや事例が横展開された結果であると考えられます。

引き続き、職員研修や庁内における取組の共有を通じて、それぞれの課かがい自らの業務において主体的にバリアフリー推進に取り組む意識を醸成し、バリアフリー推進に取り組む課かいの増加を目指します。